



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 18 No. 2572

2016-2017年度国際ロータリーのテーマ

2016-2017年度RI会長 ジョンF・ジャーム

2016-2017年度士別ロータリーのスローガン

共に笑顔で支えあい輝く未来を創ろう



人類に
奉仕する
ロータリー



2500地区ホームページ <http://rid2500.jp/>
士別RC <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

■例会場／士別グランドホテル
■例会日／毎週月曜日 12:10～13:10

■会 長／山口 哲雄
■副会長／佐藤 元保
■幹 事／高山 稔
■事務所／士別グランドホテル
士別市東3条6丁目4番地 TEL0165-23-1234

第2654回例会 2016年11月28日(月)

今日のプログラム ・夜間例会

前回(11月21日)の記録 ・普通例会

司 会 泉谷 勇 会場監督
齊 唱 奉仕の理想
本日の出席 会員 47人中 出席者 35人 出席率 74.47% 修正 80.85%
本日の欠席 大野裕一郎・川島啓・菊地仁・國森和磨・汐川泰晴・鈴木勉・田中道也
谷温恵・深尾幸夫・松塚信雄・山本俊一・江端健之

メイクアップ 山口哲雄・高山稔・近井孝義・奈良康弘(11月12日豊富RC50周年記念式典出席)

ゲ ス ト

ニコニコBOX 佐藤元信理事長(11月18日勤労感謝祭終了御礼)
大橋直幸実行委員長(11月18日勤労感謝祭終了御礼)

累計 203,000円

例会予定

■11月例会日[ロータリー財団月間]

- 11月 7日 (月) 普通例会・理事会
- 11月14日 (月) 普通例会
- 11月21日 (月) 普通例会
- 11月28日 (月) 夜間例会

■12月例会日[病氣予防と治療月間]

- 12月 5日 (月) 普通例会・年次総会・理事会
- 12月12日 (月) 夜間例会・ファミリーパーティー
- 12月19日 (月) 普通例会
- 12月26日 (月) 特別休会

■会務報告・・・・・・・・・・山口哲雄 会長

15日午後6時、士別RCパスト会長会総会を居酒屋やまもとで開催致しました。パスト会員9名、オブザーバー4名参加で行われました。2017～2018年度のパスト会長に織戸会員、副会長に大野会員・神田会員が選任されました。ご多忙の所、次年度一年間よろしくお願ひ致します。また、今後ともご指導ご協力の程併せてお願ひ致します。

18日午後6時30分よりご招待を受けまして、第40回勤労感謝祭の集いに出席して参りました。当クラブより景品を出品させて頂きました。佐藤元信理事長の元、大橋直幸実行委員長が若い世代を盛り上げていました。活気ある集いに参加をさせて頂き、私も若者のエネルギーを頂きました。市長の働くことへの感謝を込めた乾杯で更なる発展を祝っていました。会場の様子は鈴木麻由さんの物まねショーで盛り上がりを見せ、士別の勤労者の力強さを感じて参りました。佐藤会員、大橋会員大変ご苦労様でした。

さて、皆様は64年ぶりだと言われたスーパームーンは如何だったでしょうか。14日の夜は生憎の曇り空で、今年最少の満月に比べて面積が3割ほど大きく見える現象を気にしながら空を眺めていましたが、残念ながらあまり感じる事が出来ませんでした。地球と月の距離が通常より3万キロ程近づいた様ですが、日々の生活では何ら変わることなく過ごしている身にとってはピンと来ない現象です。因みに次の最接近は2034年とのことですが、是非皆さんと共に元気に大きな月が見られる様に頑張りましょう。

昨日は、ファイターズの日本一凱旋パレードに続き、コンサドーレ札幌が北海道を冠して新たに出发した年でJ1復帰を果たし、道民の底力を感じた日になりました。我々も道民の誇りを持って続いて行きたいものだと思います。

■幹事報告・・・・・・・・・・高山稔 幹事

1. 平成29年1月5日の新年交礼会の案内が来ております。会券販売11月22日～12月22日迄です。参加希望の方は幹事までご連絡ください。
2. 豊富RC50周年記念式典の御礼の文章が届いています。掲示板をご覧ください。
3. ハイライトよねやま200が届いています。掲示板をご覧ください。
4. 次年度PETS日程は、4月22日～23日。地区大会日程は、10月6日～7日との連絡が来

ております。

■プログラム委員会・・・・・・・・細川博司 委員長

本日の会員卓話は新入会員の但木行久会員をお願い致します。

●会員卓話・・・・・・・・・・但木行久 会員

「今日は、自分の簡単な経歴と、ライフワークであります柔道のお話しをさせて頂きたいと思ひます。」と、ご自身の学校卒業から地元に戻られ結婚された頃迄の経緯と、小学1年生から通った地元士別の誠心館道場での、人生の師匠となる鷺見卓雄館長による自身の成長、現在の誠心館道場との関わりをご披露下さいました。また、とても味わい深い詩をご紹介頂きました。

【負ける練習】

柔道の基本は受け身。受け身とは投げ飛ばされる練習。人の前で叩き付けられる練習。人の前でころぶ練習。人の前で負ける練習です。つまり、人の前で失敗したり、恥をさらす練習です。自分のカッコの悪さを、多くの人の前で、ぶさまにさらけ出す練習、それが受け身です。柔道の基本では、カッコよく勝つことを教えない。素直にころぶ事を教える。長い人生には、カッコよく勝つことよりも、ぶさまに負けたり、だらしく恥をさらす事の方がはるかに多いからです。だから柔道では初めに負け方を教える。しかも本腰をいれて負ける事を教える。その代わり、転んでもすぐ起き上がる。負けてもすぐ立ち直る。それが受け身の極意。極意が身につけば達人です。若者よ失敗を気にするな、負けるときにはさらりと負けるがいい。悔しい時には「コン畜生！」と正直に叫ぶがいい。弁解なんか一切するな！。泣きたい時には思い切り泣くがいい。やせ我慢などすることは無い。その代わり、スカーッと泣いてケロリと止めるんだ。早くから勝つことを覚えるな。負ける事をうんと学べ。恥をさらすことにうまくなれ！そして下積みや下働きの苦しみをたっぷり体験することだ。体験した事は身につく。身についたもの、それは本物だ。若者よ、頭と体の柔らかいうちに、受け身をうんと習っておけ、受身さえ、身につけておけば、何回失敗してもすぐ立ち直る事ができるから。そして、負け方や受け身の本当に身についた人間が、世の中の悲しみや苦しみに耐えて他人の胸の痛みを心の底から理解できる、優しい人間になれるのだ。そういう悲しみに耐えた、暖かい心の人間の事を、観音様、仏様と呼ぶのです。